

平成29年度

事業報告書

学校法人 城西大学

## 目 次

### I 法人の概要

1.	建学の精神	1
2.	沿革	1
3.	設置する学校・学部・学科・研究科	3
4.	学部・研究科・短期大学部の教育研究上の目的	4
5.	所在地	8
6.	入学定員・学生数等の状況	9
7.	役員等・教職員の概要	11

### II 事業の概要

1.	教育研究関係	14
2.	地域社会、産業界との連携・交流	19
3.	全学的トピックス	20

### III 財務の概要

1.	平成 29 年度決算の概要	22
2.	経年比較	26

## I. 法人の概要

### 1. 建学の精神

学校法人城西大学は、1965年、埼玉県坂戸市けやき台に城西大学を創立した。創立者である水田三喜男は、城西大学の開学に際して「学問はそれ自体が目的ではなく、あくまでも人間形成の手段である。立派な人間によってのみ、立派な社会がつくられるのだから、現世のために、後世のために、国家社会の重荷に堪えられる人材の教育を天職として、挙学その責に任じたいと考え、この大学を創設したのである」と語っている。

この「学問による人間形成」を建学の精神とし、自立した個人であり社会へ貢献する「社会に有為な人材の育成」を教育の原点としている。

### 2. 沿革

当法人の創立者水田三喜男は、1946年の新憲法のもとでの初めての選挙で衆議院議員に当選して以来、戦後の日本の復興に心血を注いだ政治家である。5度にわたる蔵相として日本経済の成長に力を尽くすとともに、教育と人材育成こそが国と社会の根本と考え、1965年、城西大学を創立した。

その後、1983年に城西大学女子短期大学（埼玉県坂戸市、2005年より城西短期大学）を、1992年には城西国際大学（千葉県東金市）を設立し、法人設立40周年にあたる2005年には、3つの大学、3つのキャンパスを結ぶ中心点として、東京都千代田区紀尾井町に紀尾井町キャンパスを開設した。

#### (簡易年表)

年	事 項
1965 (昭和 40)	学校法人城西大学設立認可 城西大学開設 経済学部経済学科、理学部数学科・化学科
1971 (昭和 46)	城西大学経済学部経営学科開設
1973 (昭和 48)	城西大学薬学部薬学科・製薬学科開設
1977 (昭和 52)	城西大学大学院薬学研究科薬学専攻修士課程開設
1978 (昭和 53)	城西大学大学院経済学研究科経済政策専攻修士課程開設
1979 (昭和 54)	城西大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程開設
1983 (昭和 58)	城西大学女子短期大学部開設 (経営学科経営実務専攻・秘書専攻、文学科日本文学専攻・英米文学専攻)
1990 (平成 02)	城西大学別科開設 (日本文化専修課程・日本語専修課程)
1991 (平成 03)	城西国際大学設置認可
1992 (平成 04)	城西国際大学開設 (経営情報学部経営情報学科、人文学部国際文化学科)

1996(平成 08)	城西国際大学人文学部福祉文化学科・国際交流学科開設 城西国際大学大学院人文科学研究科国際文化専攻・女性学専攻修士課程開設
1998(平成 10)	城西国際大学大学院人文科学研究科比較文化専攻博士後期課程開設 城西国際大学大学院経営情報学研究科起業マネジメント専攻修士課程開設 城西国際大学留学生別科日本文化専修課程・日本語専修課程開設 城西大学大学院理学研究科数学専攻修士課程開設 城西大学大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程開設
1999 (平成 11)	城西国際大学経営情報学部国際経営学科・福祉環境情報学科開設
2000 (平成 12)	城西国際大学大学院経営情報学研究科起業マネジメント専攻博士後期課程開設
2001(平成 13)	城西国際大学経営情報学部サービス経営システム学科開設 城西国際大学人文学部メディア文化学科開設 城西国際大学留学生別科ビジネス・情報専修課程開設 城西大学薬学部医療栄養学科開設 城西大学女子短期大学部経営情報実務学科・現代文化学科開設(改組)
2002(平成 14)	城西国際大学大学院人文科学研究科福祉社会専攻修士課程・ 国際アドミニストレーション専攻修士課程開設
2003 (平成 15)	城西大学経営学研究科ビジネスイノベーション専攻修士課程開設
2004 (平成 16)	城西大学経営学部マネジメント総合学科開設 城西大学大学院理学研究科物質科学専攻修士課程開設 城西国際大学薬学部医療薬学学科開設 城西国際大学福祉総合学部福祉文化学科・福祉経営学科開設 学校法人城西大学鋸南セミナーハウス竣工 学校法人城西大学 JOSAI 安房ラーニングセンター竣工
2005 (平成 17)	城西短期大学開設 (女子短期大学部から名称変更) 学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス竣工 城西大学大学院薬学研究科医療栄養学専攻修士課程開設 城西国際大学経営情報学部総合経営学科開設 城西国際大学メディア学部メディア情報学科開設 城西国際大学大学院ビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻開設 城西国際大学大学院福祉総合学研究科福祉社会専攻開設

2006 (平成 18)	城西国際大学観光学部ウェルネスツーリズム学科開設 城西大学現代政策学部社会経済システム学科開設 城西大学薬学部薬学科（6年制）、薬学部薬科学科（4年制）開設 城西短期大学ビジネス総合学科開設 城西国際大学薬学部医療薬学科（6年制）開設
2007 (平成 19)	城西国際大学福祉総合学部福祉総合学科開設
2008 (平成 20)	城西国際大学人文学部を国際人文学部に改組
2010 (平成 22)	城西国際大学環境社会学部環境社会学科開設 城西大学大学院薬学研究科博士前期課程薬科学専攻開設
2012(平成 24)	城西大学大学院薬学研究科薬科学専攻（博士後期課程）、薬学専攻（博士課程）開設 城西国際大学大学院薬学研究科医療薬学専攻（博士課程）開設 城西国際大学看護学部看護学科開設
2013(平成 25)	城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻、人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻開設
2016(平成 28)	城西国際大学福祉総合学部理学療法学科開設
2017(平成 29)	水田三喜男記念館竣工

### 3. 設置する学校・学部・学科・研究科

#### (1) 城西大学

経済学部	経済学科
現代政策学部	社会経済システム学科
経営学部	マネジメント総合学科
理学部	数学科 化学科
薬学部	薬学科 薬科学科 医療栄養学科
大学院	経済学研究科 経済政策専攻 経営学研究科 ビジネス・イノベーション専攻 理学研究科 数学専攻、物質科学専攻 薬学研究科 薬学専攻、薬科学専攻、医療栄養学専攻
別科	日本文化専修課程 日本語専修課程

(2) 城西国際大学

経営情報学部	総合経営学科
国際人文学部	国際文化学科 国際交流学科
福祉総合学部	福祉総合学科 理学療法学科
薬学部	医療薬学科
メディア学部	メディア情報学科
観光学部	ウェルネスツーリズム学科
環境社会学部	環境社会学科
看護学部	看護学科
大学院	人文科学研究科 国際文化専攻、女性学専攻、グローバルコミュニケーション専攻、比較文化専攻 経営情報学研究科 起業マネジメント専攻 福祉総合学研究科 福祉社会専攻 ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻 薬学研究科 医療薬学専攻 国際アドミニストレーション研究科 国際アドミニストレーション専攻
留学生別科	日本文化・ビジネス専修課程 日本語専修課程

(3) 城西短期大学

ビジネス総合学科

4. 学部・研究科・短期大学部の教育研究上の目的

(1) 城西大学

○ 学部

① 経済学部

経済学部は、経済学および経済学周辺領域の専門性と思考力を備えて現実を分析・判断する能力を有し、社会の各分野において活躍できる人材の育成を目指す。

② 現代政策学部

現代政策学部は、現代社会が抱える諸問題を、幅広い社会科学の視点から解決するために必要となる問題発見、意思決定、説明責任などの能力が高く、公共的なマインドを持つ人材の育成を目指す。

③ 経営学部

経営学部は、グローバルな視点とローカルな視点を持ち、新しい社会と産業を創造できるマネジメントの専門家の育成を目指す。

④ 理学部

理学部は、理学の本質を論理的・実証的に解析・考察する能力を持ち、複雑な社会情勢に適用できる人材の育成を目指す。

数学科は、綿密な論理構成と数学的な思考法を社会に応用できる人材の育成を目指す。

化学科は、化学的思考力と実験技術を併せもち、社会に貢献できる人材の育成を目指す。

⑤ 薬学部

薬学部は、人々が生活と人生の質を高く維持し、健康のより良い状態を目指すことを支援できる人材の育成を目指す。

薬学科は、人々の健康増進を支援する薬剤師の育成を目指す。

薬科学科は、人々の生活の安全確保と健康増進を支援する薬科学技術者の育成を目指す。

医療栄養学科は、人々の健康増進と生活の安全確保を支援する管理栄養士や食品衛生管理者・食品衛生監視員の育成を目指す。

○ 大学院研究科

① 経済学研究科

経済学研究科は、経済学の理論的観点を踏まえながら現実の経済の動向を分析する能力を有し、経済社会を担う人材、研究者や専門的な職業人の育成を目指す。

② 経営学研究科

経営学研究科は、国際的視野に立ち、創造的ビジネスを推進するイノベーターの人材、研究者や起業家などの高度専門職業人の育成を目指す。

③ 理学研究科

理学研究科は、自然の本質を論理的・実証的に解析・考察でき、地域社会及び国際社会に貢献し得る高度でグローバルな知識を有して、高度の専門性を要する職業に対して必要な能力に優れたスペシャリストの育成を目指す。

数学専攻は、「高度の数学的能力を持つ数理技術者」、「幅広い知識を生かす数学教育者・研究者」の育成を目指す。

物質科学専攻は、物質科学の専門的知識と技能を教授し、主体的かつ協同的に研究・開発に従事できる能力を涵養して、地域社会、国際社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。

#### ④ 薬学研究科

薬学研究科は、国民個々人が主観的な生活と生命の質を高く維持し健康のよりよい状態を目指すことを支援するために必要とされる高度な能力を有する人材の育成を目指す。

薬学専攻（博士課程）は、薬学分野の高度な学術的基盤を身につけ、主に医療薬学分野において極めて高度の専門性と豊かな学識を有する人材の育成を目指す。

薬科学専攻（博士後期課程）は、薬学分野の高度な学術的基盤を身につけ、主に薬科学分野において極めて高度の専門性と豊かな学識を有する人材の育成を目指す。

薬科学専攻（博士前期課程）は、薬学分野の学問的基盤に立脚した、専門性の高い能力と広い視野を有する人材の育成を目指す。

医療栄養学専攻（博士前期課程）は、栄養管理の高度化を推進し、専門性の高い能力と広い視野を有する人材の育成を目指す。

#### ○ 別科

別科は、今日の世界と日本の相互確認と理解を深めるため、日本語及び日本文化の研修を中心に、諸外国言語・文化の個別性と関連性を把握する学際的な比較文化の研修を併せて行い、国際社会に貢献しうる人材の基礎を養うとともに、広く人類文化の発展に寄与することを目的とする。

### (2) 城西国際大学

#### ○ 学部

##### ① 経営情報学部

経営情報学部は、急速に進展するグローバル化並びに情報技術の進化の波に迅速に適応し、自律的で主体的に判断し行動できる「国際的に有為なマネジメント力のある人材」を育成する。企業や地域社会などの抱える問題を発見し、それを解決する能力の育成を目指す。

##### ② 国際人文学部

国際人文学部は、語学力とグローバル・センス、社会人に必要な知識とスキルを十分に身につけ、国際社会で強いリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

国際文化学科は、国際的な視野をもって語学力と異文化理解力に優れ、柔軟な発想と行動力を備えた人材を育成する。

国際交流学科は、実践的な語学力と国際交流のための知識とコミュニケーション能力を身につけた人材を育成する。



③ 福祉総合学部

福祉総合学部は、国際的・地域的視点から医療及び福祉の問題に関心を持ち、自己の専門性の向上に向けて探究できる人材を育成する。

福祉総合学科は、持続可能な福祉社会の実現を目指して、社会環境の変化に対応し、様々な問題の解決に貢献できる人材を育成する。

理学療法学科は、国際的視野を持ちながら、科学的知見に基づく新しい時代の理学療法学を目指し、専門職の学問的内容に見識を有する人材を育成する。

④ 薬学部

薬学部は、超高齢化と国際化が進む日本社会において、質が高く安心・安全な医療サービスを提供し、健康的で豊かな生活を支援できる薬剤師を育成する。

⑤ メディア学部

メディア学部は、「表現力」「コミュニケーション力」「コラボレーション力」を高め、複合的にビジネスコミュニケーションを展開できる創造的な人材を育成する。

⑥ 観光学部

観光学部は、社会が求める実践力と新たな価値を創造し実行するデザイン力、これからの観光ビジネスや地域社会に貢献できる人材を育成する。

⑦ 環境社会学部

環境社会学部は、地球規模の国際的な視野を身につけ、地域社会の活性化、自然共生型社会の設計及び「緑」の活用等に積極的に貢献し、環境に配慮した健康なライフスタイルの普及と持続可能な社会の形成に寄与できる高度専門職業人を育成する。

⑧ 看護学部

看護学部は、学際的知見に裏付けられた新しい時代の看護を目指し、人の尊厳を守り、人間性豊かで、異文化理解や薬学、福祉に明るい、探究心と倫理性を兼ね備えた看護職者を育成する。

○ 大学院研究科

① 人文科学研究科

人文科学研究科は、国際的かつ学際的視野と異文化理解力、コミュニケーション能力を有し、国際社会で活躍できる高度な専門職業人や、研究者・教育者を育成する。

② 経営情報学研究科

経営情報学研究科は、経営学と情報学とを有機的に一体化させ、起業家精神（アントレプレナーシップ）と事業展開力、マネジメント力を備えた人材を育成する。

③ 福祉総合学研究科

福祉総合学研究科は、福祉社会の構築に係わる理論と実践を学際的視点から研究・教授し、福祉社会の実現と文化の進展に寄与し、その創造に資する知識・技術と実践力をもつ専門職業人、福祉専門職、教育・研究者を育成する。

④ ビジネスデザイン研究科

ビジネスデザイン研究科は、時代と社会の変化に対応し、ビジネスに係る仮説の探索、論理的な分析と推論、ビジネスモデル構築の能力を持ち、価値創造を実行できる高度な専門職業人を育成する。また、ICTとデジタルメディアの進化に即して、メディアに係る技術・表現・制作、視覚文化・映像文化・表象文化を学び、クリエイティブ的な職域で活躍できる能力を養成する。

⑤ 薬学研究科

薬学研究科では、高齢化と国際化が進む日本社会における保健・医療・福祉のニーズに応じて、薬学治療に関わる臨床実務の場で活躍できる科学的洞察力や、医療薬学領域の問題解決に資する自立した研究力・指導力を有する、次代を担う研究者および指導者を養成する。

⑥ 国際アドミニストレーション研究科

国際アドミニストレーション研究科（修士課程）は、国際的視点も踏まえた企業・経営や行政・政策に関する系統的でかつ総合的な知識や理論体系を習得すると共に、さらに高度な専門的知識と実務能力を併せ持つ国際的人材を育成する。

○ 留学生別科

留学生別科は、本学の建学の精神を実現するため、留学生に日本語及び日本文化の研修をし、併せて諸外国との関連性を理解する学際的な教育を実施することにより、国際社会に貢献する人材の基礎を養うとともに、広く人類文化の発展に寄与する。

(3) 城西短期大学

① ビジネス総合学科

社会における情報化・国際化のニーズにこたえられる実務処理能力とビジネス・マインドを兼ね備えた人材の育成を目指す。

5. 所在地

(1) 学校法人城西大学

東京紀尾井町本部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

(2) 城西大学、城西短期大学

坂戸キャンパス

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台 1-1

東京紀尾井町キャンパス

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

(3) 城西国際大学

千葉東金キャンパス

〒283-8555 千葉県東金市求名 1 番地

安房キャンパス

〒299-2862 千葉県鴨川市太海 1717

東京紀尾井町キャンパス

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-26

6. 入学定員・学生数等の状況（平成 29 年 5 月 1 日現在）

(1) 城西大学

(単位：人)

学部	学科	入学定員	収容定員	学生数
経済学部	経済学科	300	1,200	1,234
現代政策学部	社会経済システム学科	250	1,000	1,113
経営学部	マネジメント総合学科	500	2,000	2,064
理学部	数学科	120	480	586
	化学科	90	360	361
	計	210	840	947
薬学部	薬学科	250	1,500	1,709
	薬科学科	50	200	248
	医療栄養学科	100	400	423
	計	400	2,100	2,380
合計		1,660	7,140	7,738
別科		70	70	49

## (2) 城西大学大学院

(単位：人)

研究科	専攻	入学定員	収容定員	学生数
経済学研究科	経済政策専攻（修士課程）	10	20	23
経営学研究科	ビジネス・イノベーション専攻（修士課程）	25	50	47
理学研究科	数学専攻（修士課程）	15	30	10
	物質科学専攻（修士課程）	12	24	15
薬学研究科	薬学専攻（博士課程）	6	24	21
	薬科学専攻（博士後期課程）	3	9	7
	薬科学専攻（博士前期課程）	32	64	56
	医療栄養学専攻（博士前期課程）	20	40	28
合計		123	261	207

## (3) 城西国際大学

(単位：人)

学部	学科	入学定員	収容定員	学生数
経営情報学部	総合経営学科	400	1,760	1,380
国際人文学部	国際文化学科	80	320	278
	国際交流学科	120	500	419
	計	200	820	697
福祉総合学部	福祉総合学科	140	610	380
	理学療法学科	80	160	148
	計	220	770	528
薬学部	医療薬学科	130	780	671
メディア学部	メディア情報学科	300	1,200	1,420
観光学部	ウェルネスツーリズム学科	100	400	289
環境社会学部	環境社会学科	60	280	236
看護学部	看護学科	100	400	462
合計		1,510	6,410	5,683
留学生別科		80	80	164

(4) 城西国際大学大学院

(単位：人)

研究科	専攻	入学定員	収容定員	学生数
人文科学研究科	比較文化専攻（博士後期課程）	6	18	59
	国際文化専攻（修士課程）	15	30	34
	女性学専攻（修士課程）	15	30	20
	グローバルコミュニケーション専攻（修士課程）	25	50	48
経営情報学研究科	起業マネジメント専攻（博士課程）	6	18	5
	起業マネジメント専攻（修士課程）	36	56	57
福祉総合学研究科	福祉社会専攻（修士課程）	25	50	23
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻（修士課程）	30	60	73
薬学研究科	医療薬学専攻（博士後期課程）	3	12	6
国際アドミニストレーション研究科	国際アドミニストレーション専攻（修士課程）	35	70	57
合計		196	394	382

(5) 城西短期大学

(単位：人)

学科	入学定員	収容定員	学生数
ビジネス総合学科	120	240	210

7. 役員等・教職員の概要

(1) 役員（平成 30 年 3 月 31 日現在）

理事長	上原 明
理事	白幡 晶
	杉林 堅次
	森本 雍憲
	水田 博久
	小野 元之
	吉本 高志
	宮崎 公男
	田中 昭
監事	山口 善久
	西村 正紀

(2) 評議員 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

白幡 晶	小林 洋一
杉林 堅次	上原 明
草野 素雄	吉本 高志
飯田 加奈恵	田中 昭
森本 雍憲	宮崎 公男
倉林 眞砂斗	小野 元之
水田 博久	新藤 宣夫
岡田 美也子	西小野 義弘
鈴木 文雄	林 直樹
小池 智	リピット水田堯
五十嵐 勝也	本多 利夫
佐藤 鉄也	中村 裕
姜 奈江	中野 康男
関 伸治	

(3) 教員 (平成 29 年 5 月 1 日現在)

① 城西大学

(単位：人)

学部等	本務	非常勤	計
経済学部	17	48	65
現代政策学部	23	26	49
経営学部	26	48	74
理学部	37	45	82
薬学部	100	41	141
語学教育センター	12	50	62
別科	3	6	9
合計	218	264	482

※本務教員数には助手 24 名を含む

② 城西国際大学

(単位：人)

学部等	本務	非常勤	計
経営情報学部	28	57	85
国際人文学部	40	26	66
福祉総合学部	33	35	68
メディア学部	28	56	84
薬学部	38	2	40
観光学部	15	8	23
環境社会学部	14	3	17
看護学部	31	12	43
留学生別科	2	10	12
語学教育センター	9	29	38
ジェンダー・女性学研究所	0	0	0
合計	238	238	476

※本務教員数には助手 8 名を含む

③ 城西短期大学

(単位：人)

学科	本務	非常勤	計
ビジネス総合学科	10	6	16

(4) 職員（平成 29 年 5 月 1 日現在）

(単位：人)

所属	人数
城西大学	105
城西国際大学	86
城西短期大学	3
法人本部	37
合計	231

## Ⅱ. 事業の概要

### 1. 教育研究関係

#### (1) 奈良澤教授が日本学士院賞を受賞

城西大学現代政策学部の奈良澤由美教授が、2017年度の日本学士院賞を受賞した。奈良澤教授は1989年、東京大学文学部を卒業。その後、東京大学人文科学研究科修士課程およびフランス・エクス＝マルセイユ大学人文科学研究科博士課程を修了し、東京大学助手などを経て2016年5月、城西大学現代政策学部客員教授に就任、2017年4月から同学部教授を務めている。

専門分野は美術史、考古学で、日本の美術史学会や地中海学会などのほか、フランスの古代末期学会に所属している。今回の受賞は、フランス南部の教会祭壇の類型を体系化した研究が評価された。

#### (2) チェコ首相に名誉博士号を贈呈

2017年6月、城西大学は初来日したチェコ共和国のボフスラフ・ソボトカ首相に名誉博士号を贈呈した。ソボトカ首相は、チェコ・日本国交回復60周年を記念して来日。中欧ヨーロッパの大学との交流に力を注いでいる本学を訪問し、「チェコ共和国の視点からみる欧州の未来」と題する記念講演を行った。

#### (3) 国際交流活動

##### ① 海外研修

##### ● フランス・ブルゴーニュ国際文化研修

2017年5月、城西大学と城西国際大学が共同で海外姉妹校であるフランス・ブルゴーニュ大学への国際文化研修を実施した。参加学生は総勢15名。

ブルゴーニュはワインやディジョン・マスタードなどの農産物や食文化の世界遺産で有名だが、古くからの伝統を活かしながらも、新しい資源エネルギーや観光による町おこしなどにも積極的に取り組んでいる。今回の研修に参加した学生たちは、ブルゴーニュ大学の全面的な協力の下、地域のこうしたさまざまな取り組みを視察、体験した。

##### ● 看護学部米国研修

2017年5月、城西国際大学看護学部1年生全員(109名)が米国カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)での研修(9日間)に参加した。入学してすぐの時期に行われるこの研修は、医療の現場を体験することにより医療・看護への興味や関心を高めて、専門教育への動機づけとすることを目的としている。プログラムでは、ロサンゼルス近郊の2つの病院の見学、Riverside Community College看護学部の看護学生との交流、UCR Medical Schoolの見学を行った。



- 中国・大連インターンシップ研修
 

2017年9月、城西大学現代政策学部の学生7名が中国・大連インターンシップ研修（8日間）に参加した。

この研修は、大連理工大学での講義及び学生間交流、並びに大連各種機関への訪問及び見学等を通じて、中国・大連の社会経済・企業経営の動向及び日本との関係性などを学ぶことを目的としている。研修期間中には、中国大連の各種機関（大連理工大学、大連外国語大学等の教育機関、行政機関、企業(日系企業含む)、経済統括機関、医療福祉機関等）の見学も行われた。
- 米国 UCR マネジメント研修
 

2017年9月、城西大学経営学部および城西大学短期大学の学生計31名が参加して、米国カルフォルニア大学リバーサイド校（UCR）においてマネジメント研修(約2週間)が実施された。

研修では、主に午前中は英語の授業を行い、午後はその英語を駆使して現地企業のリサーチ、市内探索などを体験した。
- メディア学部アメリカ研修
 

2018年2月、城西国際大学メディア学部生26名が、米国カリフォルニア大学リバーサイド校（UCR）にて研修（16日間）を実施。語学研修のほか、短編映画制作のワークショップを実施し、アメリカ式の映画撮影編集技法を学んだ。UCRのほか、南カリフォルニア大学（USC）、ソニーピクチャースタジオ、アカデミー賞授賞式直前のハリウッドを訪れ、グローバル化したメディア業界の実態を学んだ。
- ニュージーランド カンタベリー大学 異文化研修
 

2018年3月、城西大学現代政策学部の学生7名が、ニュージーランドのカンタベリー大学に異文化研修に参加。研修では、同大学で研究が行われている現地の先住民族アオタヒ族に関する文化、歴史、言語等を学びながら異文化コミュニケーションを実地で体験した。また、英語の学習に加え、現地での地震からの復興の様子等も学習した。
- マレーシア短期研修
 

2018年3月、城西短期大学の学生が10名参加をして、10日間マレーシアのラマン大学（UTAR）において短期語学研修を実施した。

研修内容としては、オリエンテーション、キャンパスツアーに始まり、午前中は英語の講義を受講し、午後には現地の文化を学び、マレーシアの伝統的ゲームなど様々な体験をしながら英語を学んだ。また、英語の勉強だけではなく、マレーシアの文化も現地の人々との交流を通じて学ぶこともでき、貴重な体験を行う事ができた。

## ② 海外大学との協定締結

### ● 浙江旅遊職業学院

2017年6月、中国の浙江旅遊職業学院(浙江省)と学术交流協定を締結した。浙江旅遊職業学院は、1983年に職業技術学院として創立された公立大学である。観光学部関連の施設が充実しており、即戦力となる人材育成を目指し実践的な職業教育をおこなっている。今後、観光学部との連携を中心に、共同教育プログラムによる入試募集を行っていく。また、短期海外研修の研修先としての可能性も模索していく。

### ● 西安工業大学北方信息工程学院

2017年12月、中国の西安工業大学北方信息工程学院(陝西省)と学术交流協定を締結した。西安工業大学北方信息工程学院は、2004年に西安工業大学の独立大学として創立した。日本語学科もあることから、共同教育プログラムによる留学生の受入れが期待される。

### ● 黄山職業技術学院

2017年12月、中国の黄山職業技術学院(安徽省)と学术交流協定を締結した。黄山職業技術学院は2012年に創立した公立大学である。黄山市にある唯一の職業大学であることから、黄山市において産学連携が盛んである。看護・薬学・観光学部があることから、観光学部を中心とした共同教育プログラムによる入試募集や、看護・薬学部に短期研修や教職員の交流などが期待される。

### ● アルバータ大学

2018年1月、アルバータ大学(カナダ)薬学部およびエクステンション学部と学术交流協定を締結した。アルバータ大学は、1908年に創立され、QS世界大学ランキングやタイムズハイヤーエデュケーション(THE)世界大学ランキングにおいて、カナダのトップ5、世界のトップ100に選定されている名門大学。また、同大学内には、高円宮日本教育・研究センターが設置されている。

### ● 上海工商外国語職業学院

2018年2月、中国の上海工商外国語職業学院(上海市)と学术交流協定を締結した。上海工商外国語職業学院は、2001年に創立された職業大学。アートデザイン、ビジネスといった本学と関係のある学科があることから、日本語学科との連携を中心に共同教育プログラムによる入試募集をおこなっていく。

### ● 嘉興学院

2018年3月、中国の嘉興学院(浙江省)と学术交流協定を締結した。嘉興学院は前進となる浙江高経済学校の創立から約100年の伝統を有する国立大学。同学院は、浙江省で有数のレベルの教育・研究が実施されており、中でも経済・会計学は中国でもトップクラスを誇る。今後は、共同教育プログラムによる入試募集をおこなっていく。

- 東華理工大学長江学院

2018年3月、中国の東華理工大学長江学院（江西省）と学術交流協定を締結した。2002年に本学と協定校である東華理工大学傘下の独立した4年制大学。国際性のある人材の育成に主眼をおき、英語教育にも力をいれておることから、共同教育プログラムによる国際人文学部を中心とした留学生の受入れが期待される。

- ③ 学生会議・セミナー

- 「V4（ヴィシェグラード4）+日本」セミナー

ヴィシェグラード4カ国(V4)と呼ばれる中欧のチェコ、ハンガリー、ポーランド、スロバキアとの教育交流を強化する一環として、2018年2月、外務省とV4各国在京大使館、学校法人城西大学の共催により「V4+日本セミナー」を開催。

同セミナーを本学が共催で行うのは今年で6回目。今回はV4議長国であるハンガリーの提案で、「中央ヨーロッパと日本から政治的また経済的な面で見られるブレグジット（欧州連合からのイギリス脱退）」をテーマとした。セミナーには外務省をはじめ各国大使館職員、各大学の研究者、マスコミ、本学関係者、学生、有識者ら約70人が参加、イギリスのEU脱退が政治と経済に与える影響について活発な議論が展開された。

- 中欧/日本学生会議

2018年2月、第4回中欧/日本（Central Europe/Japan）学生会議を学校法人城西大学中欧研究所主催、フリードリヒ・エーベルト財団共催により開催。

今回のメインテーマは「格差社会の拡大と学生生活への影響」(“Growing disparities in wealth and income in industrialized societies: life and work challenges for students”)。

この会議のために欧州から来日した学生と城西大学、城西国際大学の学生、留学生が、「不平等なスタートー生い立ちが学生の選択肢に与える影響」、「教育の機会均等ー夢と現実」、「格差社会の諸相」のテーマについてそれぞれ発表し、話し合った。

- ④ 東京五輪ホストタウンへの連携協力

2020年の東京五輪・パラリンピックで、鶴ヶ島市がミャンマーの「ホストタウン」として登録され、城西大学が施設提供などで連携協力することとなった。ミャンマー選手が城西大学の総合グラウンドなどで強化合宿や大会直前合宿を行うほか、市民との交流イベントなどを通じて友好を深めていく。

#### ⑤ アジア大学生映画祭審査員特別賞受賞

城西国際大学と東西大学が共に創立 50 周年を迎えた記念作品として共同製作した「コッチばあちゃん」が、2017年9月17日～21日にわたって北京電影学院で開催された第4回アジア大学生映画祭で審査員特別賞を受賞した。

監督・脚本は中川冬馬（城西国際大学）、主演のコッチばあちゃんには数々の映画賞を受賞したベテラン女優の宮下順子、韓国からの留学生にハ・ホドン（東西大学）、コッチの孫娘に井上佳奈（城西国際大学）、スタッフは日韓の学生の混成チームで臨んだ。

#### (4) 学外講師による講演会・シンポジウム等

##### ① 特別講義

- 内田哲 飯能信用金庫会長  
「地域金融機関のトゥデイ&フューチャー」
- 池上浩一 野村ホールディングス(株)コーポレート・シティ・シニア推進室 SCO  
「グローバル化する世界と資本市場の果たす役割」
- 河端義彦 株式会社一蔵代表取締役社長  
「起業家精神に学ぶ ―(株)一蔵 社長講話―」
- 梅崎 修一 株式会社セキ薬品専務取締役  
「ドラッグストア業界とキャリア形成」

##### ② シンポジウム等

- 「ルーマニアと日本の交流シンポジウム」(11月11日)  
駐日ルーマニア大使館主催、学校法人城西大学中欧研究所及び日本・ルーマニア協会が共催。タチアナ・ヨシペル駐日ルーマニア大使の開会挨拶後、杉林堅次城西国際大学学長、猪谷晶子日本・ルーマニア協会理事長が挨拶。シンポジウムでは、六鹿茂夫静岡県立大学大学院国際関係学研究所教授の基調講演後、雨宮夏雄愛媛大学客員教授(元ルーマニア大使)、エッセイストで写真家のみやこうせい氏が講演し、柴宜弘城西国際大学特任教授をモデレーターに迎えて質疑応答が行われた。
- 「次世代の医薬・栄養・健康を担う人材とは？」(11月25日)  
城西大学大学院薬学研究科主催。同研究科長の日比野康英教授の開会挨拶に続き、宗像守・日本チェーンドラッグストア協会事務総長、紀平哲也・厚生労働省医薬・生活衛生局薬事企画官・医薬情報室長、赤瀬朋秀・日本経済大学経営学部長、杉林堅次・城西国際大学学長の4氏が特別講演を行い、薬剤師や関係者、本学の学生・教職員ら約100人が、各界のオピニオンリーダーによる提言や討論に熱心に耳を傾けた。

● 「ローカルヒーロー博覧会」(2月24日)

紀尾井町キャンパスにて、大学では全国初のイベントとなるローカルヒーロー博覧会を開催。ローカルヒーローを運営する16団体が関東圏をはじめ大阪や京都から参加し、「ローカルヒーローと会い、ローカルヒーローを知り、ローカルヒーローをチャンスにする」という目標の下、ヒーローたちとの触れ合いや展示が行われた。また、城西大学経営学部石井助教による講演、運営団体(株)ヤツルギ魂の飯澤慎代表、川井芳文取締役と石井助教との対談も行われた。

## 2. 地域社会、産業界との連携・交流

### (1) 地域社会との連携

#### ① 一宮町と連携協定を締結

2018年2月、一宮町と城西国際大学は包括的な連携に関する協定を締結した。本協定は、広範囲な分野で相互に人的資源等を活用し、学生の成長及びまちづくりの推進に寄与することを目的としている。

また、2020年東京オリンピックでは、一宮町の釣ヶ崎海岸がサーフィンの会場となることから、本学サーフィン部を中心としたスポーツ団体のほか、海外からの訪問者対応や国際交流支援、大会運営ボランティア支援など、多岐にわたる交流が期待される。

#### ② 株式会社ムーミン物語(飯能市)と基本協定を締結

2019年の春、オープンする(株)ムーミン物語と連携し、来場者への城西大学教員によるワークショップ、学生のインターンシップ先、実体験できる研究活動の場として、教育、研究の中に位置づける。2018年3月、地域振興及び教育振興の向上を目的とした連携協力に関する基本協定を締結した。

#### ③ 埼玉県行田市との連携

城西大学薬学部医療栄養学科では、国の地方創成拠点整備交付金を活用して、行田市水城公園東側園地に行田市指定有形文化財である旧忍町信用組合店舗を移築・復元をする事業の一環で、移築した有形文化財内で提供される子育て世代を対象にしたカフェレシピ開発及び、行田市市内飲食店より提案された健康レシピについて、栄養調査や栄養のアドバイスをを行い地域の健康向上を推進することを目的としている。

#### ④ 木更津・君津・館山の3商工会議所との連携事業

城西国際大学観光学部では、木更津商工会議所、君津商工会議所、館山商工会議所の3会議所と連携し、2020年のオリンピック・パラリンピックに向けたさらなる観光振興を目指して、南房総地域に訪れた観光客の観光や消費の動向を把握するための調査を実施している。

第1回調査では、木更津市、君津市、館山市の観光資源実地調査を実施、また第2回調査では、学生たちがインタビュアーとなり、東京湾アクアラインにある人工島「海ほたる」を訪れた観光客にアンケートを実施した。

### (2) 企業との連携

#### ① ジャパンモード株式会社、ミツイワ株式会社との業務協定

城西大学薬学部では、2017年9月、ジャパンモード株式会社、ミツイワ株式会社の2社と業務協定をし、ジャパンモード株式会社が考案したビジネスモデルであるオールインワンヘルスケアシステムを人の健康を維持する販売店・施設・企業に広く浸透させることを推進している。

また城西大学では、服用薬と食品・サプリメントの相互作用データを迅速に提供できるよう、支援している。

#### ② (有)リバティハウスと連携協定締結

2017年9月、(有)リバティハウスとの間で連携協定を締結した。これは、城西大学と(有)リバティハウスの包括的な連携のもと、地域食材等を活かした食品開発及び学術研究で協力し、相互及び地域社会の発展に寄与することを目指したもの。城西大学は、(有)リバティハウスの製品に対する食品学及び栄養学等の専門的見地に基づいた監修等を行う。

### 3. 全学的トピックス

#### (1) 学校法人城西大学新理事長の就任

学校法人城西大学は9月8日の理事会において、新理事長に上原明氏(学校法人城西大学理事・評議員、大正製薬ホールディングス株式会社代表取締役社長)を選任した。上原新理事長は1941年東京都生まれ。1982年、大正製薬代表取締役社長就任、2013年より大正製薬ホールディングス株式会社代表取締役社長(現任)。また、1979年より本学の理事・評議員。

## (2) 城西国際大学新学長の就任

2017年4月、城西国際大学の新学長に杉林堅次氏(城西大学薬学部薬科学科教授)が就任した。杉林新学長は富山大学大学院薬学研究科薬学専攻(修士課程)修了。薬学博士(岐阜薬科大学)取得。米ミシガン大学、ユタ大学留学。講師、助教授などを経て城西大学薬学部教授。また、薬学部長、城西大学・城西国際大学副学長を歴任。

## (3) 会計調査委員会の設置及び第一回会計調査報告書受領

2017年4月、学校法人城西大学は、前理事長時代に行われた不明瞭な支出・不適切な会計処理についての真相解明のため、当法人と利害関係を有しない外部の弁護士・公認会計士を調査委員として会計調査委員会を設置し、同年9月、第一回会計調査報告書を同委員会より受領した。

学校法人城西大学会計調査委員会の構成は以下のとおり。

弁護士	藤田 昇三
弁護士	青木 二郎
公認会計士	梶間 栄一
公認会計士	岡部 雅人

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 平成 29 年度決算の概要

##### (1) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

科目		予算	決算	差異
教育活動収支	学生生徒等納付金	18,345	18,187	158
	手数料	302	283	19
	寄付金	259	211	48
	経常費等補助金	833	936	△102
	付随事業収入	107	101	5
	雑収入	699	872	△172
	教育活動収入計	20,545	20,589	△44
	人件費	9,022	8,764	258
	教育研究経費	7,922	7,976	△54
	管理経費	3,531	2,907	624
	徴収不能額等	-	1	△1
	教育活動支出計	20,475	19,649	826
	教育活動収支差額	70	940	△871
	教育活動外収支	受取利息・配当金	164	164
教育活動外収入計		164	164	0
教育活動外支出計		-	-	-
教育活動外収支差額		164	164	0
経常収支差額		234	1,104	△870
特別収支	その他の特別収入	42	131	△89
	特別収入計	42	131	△89
	資産処分差額	88	1,010	△922
	その他の特別支出	-	-	-
	特別支出計	88	1,010	△922
	特別収支差額	△45	△879	834
予備費		100	-	100
基本金組入前当年度収支差額		89	225	△137
基本金組入額合計		△4,162	△362	△3,800
当年度収支差額		△4,073	△137	△3,936
前年度繰越収支差額		△18,409	△18,409	-
翌年度繰越収支差額		△22,482	△18,546	△3,936



(参考)

(単位：百万円)

科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	20,751	20,884	△133
事業活動支出計	20,663	20,659	4

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合がある。

※該当計数のないものは「-」、単位未満の計数があるものは「0」と表示している。

※上記は以下の表において同じ。

収入面では、学生生徒等納付金等が予算をやや下回ったが、経常費等補助金等が予算を上回った結果、事業活動収入合計では予算を133百万円上回る20,884百万円となった。

支出面では、諸経費の見直しや削減により人件費、管理経費が予算を下回った一方で、校舎の建替えに伴う資産処分差額が予算を上回ったことから、事業活動支出合計では予算とほぼ同じ20,659百万円となった。

以上により、基本金組入前当年度収支差額は225百万円となった。また、基本金組入後の当年度収支差額は△137百万円となった。

## (2) 資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	18,345	18,187	158
手数料収入	302	283	19
寄付金収入	256	205	52
補助金収入	833	1,051	△218
資産売却収入	-	0	△0
付随事業・収益事業収入	107	101	5
受取利息・配当金収入	164	164	0
雑収入	671	872	△201
前受金収入	2,897	2,710	186
その他の収入	7,543	7,379	164
資金収入調整勘定	△2,100	△3,318	1,218
前年度繰越支払資金	8,683	8,683	-
収入の部合計	37,700	36,317	1,383

(単位：百万円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	8,816	8,655	160
教育研究経費支出	6,196	5,818	378
管理経費支出	2,934	2,413	521
施設関係支出	4,746	1,739	3,007
設備関係支出	2,159	1,038	1,121
資産運用支出	3,583	4,948	△1,365
その他の支出	4,515	5,185	△669
予備費	100	-	100
資金支出調整勘定	△727	△963	236
翌年度繰越支払資金	5,377	7,483	△2,106
支出の部合計	37,700	36,317	1,383

資金収支における収入面では、学生生徒等納付金収入などで入金総額は 27,634 百万円となり、前年度繰越支払資金 8,683 百万円を含めた収入合計は 36,317 百万円となった。

支出面では、施設関係支出 1,739 百万円、設備関係支出 1,038 百万円を含め支出金総額は 28,835 百万円となり、翌年度繰越支払資金 7,483 百万円を含めた支出合計は 36,317 百万円となった。

## (3) 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部			
科目	29年度末	28年度末	増減
固定資産	125,110	123,338	1,772
有形固定資産	84,611	84,942	△331
特定資産	40,375	38,277	2,099
その他の固定資産	124	120	4
流動資産	8,132	9,714	△1,582
資産の部合計	133,241	133,052	190
負債の部			
固定負債	4,126	3,926	201
流動負債	4,102	4,338	△236
負債の部合計	8,228	8,263	△36
純資産の部			
基本金	143,560	143,197	362
第1号基本金	131,026	129,363	1,662
第2号基本金	9,760	11,060	△1,300
第3号基本金	1,600	1,600	-
第4号基本金	1,174	1,174	-
繰越収支差額	△18,546	△18,409	△137
純資産の部合計	125,014	124,788	225
負債及び純資産の部合計	133,241	133,052	190

資産の部の合計は、前年度末より190百万円増の133,241百万円となった。内訳は、有形固定資産が331百万円減の84,611百万円、特定資産が2,099百万円増の40,375百万円、流動資産が1,582百万円減の8,132百万円などである。

負債の部の合計は、36百万円減の8,228百万円となった。内訳は、固定負債が201百万円増の4,126百万円、流動負債が236百万円減の4,102百万円である。

また、基本金は143,560百万円、繰越収支差額は△18,546百万円となり、純資産の部の合計は125,014百万円で前年度末から225百万円増加した。

## 2. 経年比較

### (1) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

科目		27年度	28年度	29年度
教育活動収支	学生生徒等納付金	18,152	18,740	18,187
	手数料	296	291	283
	寄付金	759	184	211
	経常費等補助金	871	912	936
	付随事業収入	106	100	101
	雑収入	734	808	872
	教育活動収入計	20,917	21,035	20,589
	人件費	8,482	8,728	8,764
	教育研究経費	7,035	6,860	7,976
	管理経費	3,834	3,181	2,907
	徴収不能額等	16	0	1
	教育活動支出計	19,367	18,769	19,649
	教育活動収支差額	1,550	2,266	940
	教育活動外収支	受取利息・配当金	131	171
教育活動外収入計		131	171	164
教育活動外支出計		-	-	-
教育活動外収支差額		131	171	164
経常収支差額		1,681	2,437	1,104
特別収支	その他の特別収入	20	29	131
	特別収入計	20	29	131
	資産処分差額	192	79	1,010
	その他の特別支出	0	0	-
	特別支出計	192	79	1,010
	特別収支差額	△172	△50	△879
基本金組入前当年度収支差額		1,510	2,386	225
基本金組入額合計		△7,693	△5,151	△362
当年度収支差額		△6,183	△2,764	△137
前年度繰越収支差額		△9,462	△15,645	△18,409
翌年度繰越収支差額		△15,645	△18,409	△18,546

## (2) 資金収支計算書

(単位：百万円)

収入の部			
科目	27年度	28年度	29年度
学生生徒等納付金収入	18,152	18,740	18,187
手数料収入	296	291	283
寄付金収入	753	178	205
補助金収入	871	917	1,051
資産売却収入	-	-	0
付随事業・収益事業収入	106	100	101
受取利息・配当金収入	131	171	164
雑収入	734	808	872
前受金収入	3,115	2,837	2,710
その他の収入	16,160	13,503	7,379
資金収入調整勘定	△3,312	△3,486	△3,318
前年度繰越支払資金	7,231	7,154	8,683
収入の部合計	44,237	41,212	36,317

(単位：百万円)

支出の部			
科目	27年度	28年度	29年度
人件費支出	8,363	8,565	8,655
教育研究経費支出	5,225	5,156	5,818
管理経費支出	3,288	2,647	2,413
施設関係支出	7,240	5,528	1,739
設備関係支出	659	861	1,038
資産運用支出	7,642	5,404	4,948
その他の支出	5,255	5,488	5,185
資金支出調整勘定	△589	△1,120	△963
翌年度繰越支払資金	7,154	8,683	7,483
支出の部合計	44,237	41,212	36,317

## (3) 貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部			
科目	27年度	28年度	29年度
固定資産	122,483	123,338	125,110
流動資産	7,945	9,714	8,132
資産の部合計	130,428	133,052	133,241

(単位：百万円)

負債及び純資産の部			
科目	27年度	28年度	29年度
固定負債	3,649	3,926	4,126
流動負債	4,377	4,338	4,102
負債の部合計	8,026	8,263	8,228
基本金	138,047	143,197	143,560
第1号基本金	123,313	129,363	131,026
第2号基本金	11,960	11,060	9,760
第3号基本金	1,600	1,600	1,600
第4号基本金	1,174	1,174	1,174
繰越収支差額	△15,645	△18,409	△18,546
純資産の部合計	122,402	124,788	125,014
負債及び純資産の部合計	130,428	133,052	133,241